令和2年度版

南あわじ市

施策概要・事業費・財源を写真付きで分かりやすく解説

事業概要説明書

1万円単位の予算

本来市の予算は千円単位で記載していますが、事業概要説明書では分かりやすくするため、1万円単位で掲載しています。また、予算書の節と名称が異なるものもあります。前年度予算については、全ての補正予算を反映させることができないため、令和元年度当初予算の金額を記載しています。

～ 目 次 ～

第1章

超高齢化社会の克服

14 事業　　P. 1～P. 6

第2章

子育て環境の向上と教育の充実

39 事業　　P. 7～P. 20

第3章

地域の資源を活かした地元産業の活性化

42 事業　　P. 21～P. 35

第4章

安全・安心のまちづくり

18 事業　　P. 36～P. 42

第5章

「対話と行動の行政」の実現によるまちづくり

12 事業　　P. 43～P. 47

※本説明書に記載されている担当課及び電話番号は**令和元年度**のものです。

第1章
超高齢化社会の克服

高齢者等元気活躍推進事業

担　市民協働課0799-43-5244

1

R2年度事業費　　2,246万円
昨年度予算額　2,359万円

「人生100年時代」を迎え、シニア世代の方々が仕事や子育てで培った能力や経験を生かし、誇りを持って社会を支える側として活躍する「生涯活躍社会」の実現を目指しています。

特に人手不足で悩む施設での活動をポイント化した「おもいやりポイント制度」の運営と高齢者の働きやすい環境整備を進める「働くシニア応援プロジェクト」を推進します。

主な経費

高齢者等元気活躍推進事業支援業務委託料　1,592万円
登録説明会等開催支援業務委託料　198万円
おもいやりポイント料　60万円

財源内訳

市一般財源　505万円／国庫支出金　1,068万円
おもいやりポイント原資　84万円
ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　589万円

市役所窓口利便性向上事業

担　市民協働課0799-43-5244
総合窓口センター0799-43-5212
社会教育課0799-43-5232

2

R2年度事業費　　180万円
昨年度予算額　0万円（新規）

歩いて暮らせるまちづくりを進めるため、種々の申請等が郵送や市民交流センターの書類預かりサービスで可能となるよう業務の見直しを図るとともに、出張窓口相談の実施等、市民が市役所まで来なくても各種手続きが出来る仕組みの本格的な構築を目指します。

また、市民が身近なところで図書の貸し出し、返却ができるよう、市民交流センターで図書の取り次ぎサービスを開始します。

主な経費

証明書交付支援機器導入費用　130万円
図書システム改修業務委託料　20万円

財源内訳

市一般財源　180万円

コミュニティバスの運行

担　市民協働課0799-43-5244
長寿・保険課0799-43-5217

3

R2年度事業費　　1億1,657万円
昨年度予算額　1億1,449万円

コミュニティバス「らん・らんバス」の運行により、市民の交通手段を確保するとともに、市内各施設と連携しバス利用ニーズの掘り起こしを進めるなど利便性の向上を図ります。

また、高齢者及び障害者への運賃助成により外出支援を行います。

主な経費

コミュニティバス運行委託料　1億1,045万円
高齢者・障害者への運賃助成　374万円

財源内訳

市一般財源　9,294万円
県支出金　906万円
運賃収入　1,270万円
ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　187万円

民間路線バスへの運行費補助等

4

R2年度事業費　1,533万円
昨年度予算額　1,140万円

市民の生活移動手段となっている路線の存続の必要性から、民間路線バスの運行費を助成します。運行にかかる経費は、洲本市と走行距離数で按分し補助します。

また、住民及び観光客の利便性を向上するため、再編した洲本市コミュニティバス上灘・沼島線について、運行にかかる経費を洲本市と走行距離数で按分し負担します。

主な経費

地方路線バス運行補助金（長田線、鳥飼線、都志線）　1,333万円
市域間路線運行負担金（上灘・沼島線）　200万円

財源内訳

市一般財源　1,422万円
県支出金　111万円

担　市民協働課0799-43-5244

健康づくり事業（町ぐるみ健診等）

5

R2年度事業費　9,510万円
昨年度予算額　9,353万円

心臓病や脳卒中などの生活習慣病を予防するため、健診による早期発見、正しい健康管理について保健指導を行います。また、各種がん検診等も実施します。

主な経費

町ぐるみ健診委託料　8,380万円
看護師等報償費　211万円

財源内訳

市一般財源　6,717万円
国庫支出金　27万円
県支出金　167万円
町ぐるみ健診個人負担金等　2,599万円

担　健康課0799-43-5218

風しん予防接種事業

6

R2年度事業費　1,272万円
昨年度予算額　975万円

抗体を持たない妊娠初期の妊婦が風しんウイルスに感染すると、赤ちゃんが心疾患、難聴、白内障などの障害を起こす先天性風しん症候群という病気にかかって生まれることがあります。予防のために、妊娠を希望する女性及び妊婦の同居家族等の予防接種費用の経費補助を行います。また、抗体保有率の低い現在40歳から57歳の男性については無料で抗体検査や予防接種を行います。

主な経費

風しん抗体検査医師委託料　910万円
風しん予防接種医師委託料　347万円
風しん予防接種補助金　15万円

財源内訳

市一般財源　788万円
国庫支出金　484万円

担　健康課0799-43-5218

定期予防接種事業

担　健康課0799-43-5218

7

R2年度事業費　　1億735万円
昨年度予算額　1億1,174万円

BCGや四種混合、麻しん風しん、小児肺炎球菌予防接種など、予防接種法で定められた定期接種を実施します。一定の年齢で接種を受けることが望ましいとされていることから、子どもの予防接種は無料です。

また、高齢者インフルエンザや高齢者肺炎球菌予防接種については、費用の一部を助成します。

主な経費

定期予防接種費（小児用肺炎球菌、四種混合等）　7,418万円
高齢者インフルエンザ予防接種費　2,622万円
高齢者肺炎球菌予防接種費　478万円

財源内訳

市一般財源　1億735万円

小児救急診療事業

担　健康課0799-43-5218

8

R2年度事業費　　5,945万円
昨年度予算額　5,530万円

子ども（中学生以下）の急な疾病への対応として、休日の小児救急外来を洲本応急診療所で行うほか、小児夜間救急の専用電話を設置し、島内医師等による輪番制診療を行います。専用電話は看護師がすぐに診療が必要かを判断し当番医師を紹介します。

主な経費

小児救急診療医師謝礼　4,510万円
小児救急診療医師車借上料　1,185万円
小児救急診療業務負担金　165万円

財源内訳

市一般財源　828万円
小児救急診療業務負担金　3,790万円
ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　1,327万円

老人福祉サービス事業

担　長寿・保険課0799-43-5217

9

R2年度事業費　　2億6,992万円
昨年度予算額　2億7,207万円

在宅で、寝たきり等のため常時おむつを使用している方に紙おむつを支給します。また、自立した生活が困難であったり、一人暮らしで生活に不安がある高齢者に対しては、施設入所への支援を行います。

主な経費

養護老人ホーム保護措置費　2億1,928万円
高齢者生活支援ハウス運営委託料　600万円
在宅寝たきり高齢者等紙おむつ支給事業　640万円

財源内訳

市一般財源　2億226万円
県支出金　2,014万円
老人ホーム入所者個人等負担金・分担金　4,709万円
基金利子（地域福祉基金）　43万円

高齢者の生きがい対策事業

担　長寿・保険課0799-43-5217

10

R2年度事業費　3,446万円
昨年度予算額　3,496万円

健康や体力を維持、改善していくスポーツ大会や健康づくりのほか、在宅福祉を支える友愛活動や地域社会の日常的な奉仕活動などの社会福祉活動等を行う老人クラブに対して活動補助金を交付します。また、長寿を祝う敬老会を実施する地区に対して補助を行います。

主な経費

単位老人クラブ（190地区）補助金　1,938万円
敬老会事業補助金　730万円
老人クラブ連合会（本部+21地区）補助金　585万円

財源内訳

市一般財源　1,918万円／　県支出金　1,163万円
ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　365万円

高齢者保健福祉月間祝福事業

担　長寿・保険課0799-43-5217

11

R2年度事業費　1,762万円
昨年度予算額　1,764万円

多年にわたり社会に貢献してきた高齢者に対し、感謝と長寿を祝福するために敬老祝金を支給するほか、百歳以上の長寿者と金婚夫婦に記念品を贈呈します。

主な経費

敬老祝金　1,692万円
長寿祝記念品　54万円
金婚夫婦記念品　16万円

財源内訳

市一般財源　916万円
ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　846万円

福祉医療費の助成

担　長寿・保険課0799-43-5217

12

R2年度事業費　1億3,651万円
昨年度予算額　1億4,054万円

高齢者や重度心身障害者、母子家庭など経済的に恵まれない方や医療費が高額になる方の医療費等を公費負担し、経済的負担の軽減を図ります。

主な経費

高齢期移行医療費助成金　835万円
重度障害者医療費助成金　6,025万円
母子家庭等医療費助成金　876万円
高齢重度障害者医療費助成金　5,915万円

財源内訳

市一般財源　6,282万円
県支出金　6,289万円
高齢障給付調整金等　1,080万円

障害者（児）福祉サービス事業

担　福祉課0799-43-5216

13

R2年度事業費　10億5,849万円
昨年度予算額　10億1,171万円

地域の中で一人ひとりが安心して障害に応じた生活が送れるよう生活介護や就労支援等の各種支援を行います。

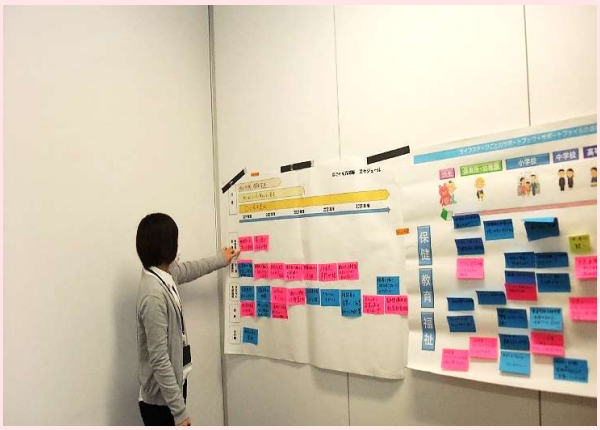
主な経費

障害者総合支援（介護給付費・自立支援医療費）　9億2,156万円
障害者総合支援（地域生活支援）　3,801万円
地域活動支援センター基礎的事業補助金　1,546万円
きらら・ウインズ指定管理料　1,300万円

財源内訳

市一般財源　3億3,038万円
国庫支出金　4億8,702万円
県支出金　2億4,109万円

障害者相談支援体制の充実



担　福祉課0799-43-5216

14

R2年度事業費　1,554万円
昨年度予算額　1,478円

「淡路圏域地域生活支援拠点」と「南あわじ市障害者基幹相談支援センター」を中心とした、障害者の地域生活支援及び相談支援のさらなる充実を図ります。

「地域生活支援拠点」では、障害者の高齢化等を見据え、障害者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を整えるため、専門性の高い相談や困難ケースの対応や、地域の支援体制づくりなどを実施します。

「障害者基幹相談支援センター」では、総合的・専門的な相談支援の実施をはじめ、地域の相談支援体制強化、地域移行・地域定着支援、権利擁護・虐待防止の普及・啓発などを進めます。

主な経費

障害者相談支援業務委託料　1,044万円
基幹相談支援センター業務委託料　204万円
地域生活拠点業務負担金　306万円

財源内訳

市一般財源　1,342万円
国庫支出金　141万円
県支出金　71万円

第2章
子育て環境の向上と
教育の充実

子育てにやさしい環境づくり事業

1

R2年度事業費　　107万円
昨年度予算額　0万円（新規）

「子育ての喜びが見えるまち」を目指し、働き方について市及び市内の企業、団体等で、仕事と育児の両立などを協議する共同事業体「コンソーシアム」を立ち上げ、情報共有、課題解決を図ります。

子育てする保護者、市民、保育士等には、子育て応援講座や絵本読み聞かせマスター養成講座、「学ぶ楽しさ」を探求する研修を開催します。また、市内の中高校生に、子育ての楽しさ、大切さを知ってもらうために、大学連携による子育てイベントへの参加や、子育てに関する課題解決への取り組みを実施します。

主な経費

コンソーシアム事業　24万円
学ぶ楽しさ日本一事業（幼児教育）、大学連携事業　83万円

財源内訳

講座参加料　2万円
ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　105万円

担　子育てゆめるん課0799-43-5219

スクールチャレンジ事業

2

R2年度事業費　　635万円
昨年度予算額　300万円

「学ぶ楽しさ日本一」を目指す事業の一環として、新教育課程の導入、学力向上、特別支援教育、いじめ・不登校問題など様々な課題に対応した教職員の資質向上研修や研究、体制づくり等を支援していきます。それにより、各校が「学ぶ楽しさ」を追求する授業や行事、取組を展開し、より特色ある学校づくりを進めていきます。

主な経費

スクールチャレンジ事業補助金　635万円

財源内訳

ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　635万円

担　学校教育課0799-43-5231

子どもの遊び場づくり事業

3

R2年度事業費　　2,590万円
昨年度予算額　2,625万円

既存の公共施設を有効利用し、市民の憩いの場、交流の場及び子どもの遊び場づくりとして、親しみやすい環境を提供します。

小学校の校庭を、土日祝日に学校教育や社会体育活動に支障のない範囲で地域の人に開放します。開放にあたって、計画的に各小学校の遊具整備を進めていきます。令和2年度は松帆、湊、市小学校の遊具整備のほか、3校の修繕を行います。

主な経費

学校遊具整備設計監理業務委託料　270万円
学校遊具整備工事費　2,320万円

財源内訳

市債（合併特例事業債）　2,460万円
ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　130万円

担　教育総務課0799-43-5230

アフタースクール事業

担　体育青少年課0799-43-5234

4

R2年度事業費　　4,309万円
昨年度予算額　2,775万円

放課後児童クラブと放課後子ども教室を融合したアフタースクール事業を令和元年度からモデル的に始め、令和2年度は新たに2か所を開設予定です。すべての子どもたちを対象とし、遊びの中に学習・体験・スポーツなどのプログラムを取り入れることにより子どもたちの積極性・自律性などを育み、地域の人たちと感性豊かな子どもたちを育てていきます。

主な経費

エリアマネージャー、スタッフ報酬等　2,357万円
講師等派遣委託料　580万円
講師等謝礼　968万円

財源内訳

市一般財源　673万円
国庫支出金　514万円
県支出金　612万円
アフタースクール事業利用料等　851万円
ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　1,659万円

結婚新生活支援事業

担　ふるさと創生課0799-43-5205

5

R2年度事業費　　450万円
昨年度予算額　0万円（新規）

婚姻による新生活をスタートするためのイニシャルコスト（敷金・礼金、引越費用等）の一部を支援し、経済的負担を軽減することで結婚促進、定住促進を図ります。

主な経費

結婚新生活支援事業補助金　450万円

財源内訳

国庫支出金　225万円
ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　225万円

多世代同居・近居支援事業

担　ふるさと創生課0799-43-5205

6

R2年度事業費　　2,000万円
昨年度予算額　0万円（新規）

南あわじ市への定住促進、多世代同居、近居を促進することにより、家族の絆の再生や地域の共助を目的とし、多世代同居・近居をする際の住宅新築、購入またはリフォーム工事費用の一部を補助します。補助金の上限額は、100万円です。

主な経費

多世代同居・近居支援事業補助金　2,000万円

財源内訳

ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　2,000万円

マイホーム取得費等の助成

担　ふるさと創生課0799-43-5205

7

R2年度事業費　　5,590万円
昨年度予算額　1億5,490万円

島外からの転入を促進し、特に若者世帯の定住促進を図るため、市内に住宅を建築または購入する方へ住宅取得費用の一部を補助します。また、空き家の利用促進を図るため、空き家改修に係る費用の一部を補助します。補助金の上限は、新築取得が200万円、空き家利用が100万円、空き家改修が100万円です。

主な経費

マイホーム取得補助金　5,000万円
移住促進空き家活用支援事業補助金　590万円

財源内訳

市一般財源　1,467万円
県支出金　50万円
ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　4,073万円

結婚促進・縁結び事業

担　ふるさと創生課0799-43-5205

8

R2年度事業費　　100万円
昨年度予算額　100万円

ハッピーマジックの会、縁結び事業推進協議会構成団体による若者の出会いの場づくりや縁結び相談会を行います。

主な経費

縁結び事業推進協議会補助金　90万円
結婚促進事業補助金　10万円

財源内訳

県支出金　50万円
ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　50万円

新婚世帯家賃補助事業

担　ふるさと創生課0799-43-5205

9

R2度事業費　　1,260万円
昨年度予算額　1,500万円

定住促進事業として、新婚世帯で民間の賃貸住宅に入居している方へ補助金を交付します。補助金の限度額は、家賃5万円以上の世帯が月額1万円、家賃3万円以上5万円未満の世帯が月額5千円で、期間は最長3年間となっています。

主な経費

新婚世帯家賃補助　1,260万円

財源内訳

ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　1,260万円

通勤・通学者交通費助成事業

担　ふるさと創生課0799-43-5205

10

R2年度事業費　1,150万円
昨年度予算額　1,100万円

定住人口維持のため、高速バス等を利用する通勤・通学者へ交通費を助成します。交通費に対する助成額は、通勤者（通勤手当を除く）及び島内通学者は2割、島外通学者3割となっています。

主な経費

通勤・通学者交通費補助金　1,150万円

財源内訳

市一般財源　383万円
ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　767万円

出産祝金の支給

担　子育てゆめるん課0799-43-5219

11

R2年度事業費　1,343万円
昨年度予算額　1,476万円

次代を担う子どもの出産を祝福するとともに、健やかな発育を願い、第1子・第2子に3万円、第3子以降は10万円の支給を行います。出産祝金の支給を行うことで、子育て費用の負担を軽減します。

主な経費

出産祝金　1,343万円

財源内訳

ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　1,343万円

こんにちは赤ちゃん事業・乳幼児健診事業

担　健康課0799-43-5218

12

R2年度事業費　915万円
昨年度予算額　919万円

生後4ヶ月までの乳児がいる家庭を保健師等が訪問し、育児・授乳・産後の身体のことなどの相談に応じます。また、乳幼児健診や相談等によって、乳幼児の心身の健やかな発達と健康の保持増進を図ります。

主な経費

乳幼児健診事業　629万円
母子衛生事業（乳幼児相談・育児支援訪問事業）　286万円

財源内訳

市一般財源　372万円
国庫支出金　24万円
県支出金　24万円
フッ素塗布負担金　38万円
ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　457万円

中学生までの医療費無料化

担　長寿・保険課0799-43-5217

13

R2年度事業費　　1億6,047万円
昨年度予算額　1億6,613万円

子育て世代の医療費負担支援のため、0歳～中学3年生までの医療費無料化を行います（満1歳から所得制限あり）。

新たに訪問看護ステーションが行う訪問看護を助成対象として、子育てにやさしいまちの一層の推進を図ります。

主な経費

乳幼児等医療費助成金　5,363万円
こども医療費助成金　1,761万円
すこやか子育て支援費（市単独）　8,383万円

財源内訳

市一般財源　3,750万円
県支出金　3,852万円
ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　8,445万円

子育て学習・支援センター（通称：ゆめるんセンター）の運営

担　子育てゆめるん課0799-43-5219

14

R2年度事業費　　1,484万円
昨年度予算額　1,596万円

乳幼児を持つ親を対象に、出前ひろばや年齢別ひろば、ままひろば、ままクラブ、イクメン交流などを開催します。行事を通じての親同士の仲間づくりや子育て相談、子育てボランティアの育成などを目指します。また、休日には家族参加型のイベントも開催します。

主な経費

インストラクター報酬、補助員謝礼等　1,085万円
センター運営費　499万円

財源内訳

国庫支出金　272万円
県支出金　272万円
子育て学習・支援センター個人負担金　55万円
ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　885万円

ファミリーサポートセンター事業

担　子育てゆめるん課0799-43-5219

15

R2年度事業費　　206万円
昨年度予算額　235万円

保護者の体調が悪い時等に子どもを一時的に預かるサービスを提供します。サービスを提供する側と受ける側はそれぞれが会員登録を行い、ファミリーサポートセンターに配置されたアドバイザーが会員間の調整を行います。

主な経費

臨時職員（アドバイザー）報酬等　158万円
講習会講師謝礼　6万円

財源内訳

市一般財源　68万円
国庫支出金　69万円
県支出金　69万円

家庭児童相談システム構築事業

担　子育てゆめるん課0799-43-5219

16

R2年度事業費　910万円
昨年度予算額　0万円（新規）

子育て家庭を妊娠期から一体的に支援するために「子ども家庭総合支援拠点」の設置を令和4年度を目途に進めています。

令和2年度は支援拠点の体制整備として、家庭児童相談システムを導入します。相談児童等に関する記録をデータベース化することで、関係機関との連携を密接にし、虐待通告へ迅速かつ確実に対応できるようにします。また相談記録のデータ化により、子育て相談に対して適切な支援や助言を行います。

主な経費

家庭児童相談システム構築業務委託料　880万円

財源内訳

市一般財源　710万円
国庫支出金　100万円
県支出金　100万円

特定不妊治療費助成

担　健康課0799-43-5218

17

R2年度事業費　480万円
昨年度予算額　490万円

特定不妊治療（体外受精及び顕微授精）を受けた夫婦の経済的負担の軽減を図るため、治療1回当たり10万円を上限に治療費の一部を助成します。

主な経費

特定不妊治療費補助金　475万円
不育症治療費補助金　5万円

財源内訳

県支出金　3万円
ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　477万円

妊婦健康診査費助成・出産支援事業

担　健康課0799-43-5218

18

R2年度事業費　2,360万円
昨年度予算額　2,542万円

妊婦がより健やかな妊娠期を過ごし、安心して出産を迎えるために、妊婦健康診査費を助成します。妊婦健診の受診に要した費用のうち、健診回数14回かつ助成額9万8,000円を限度に助成します。また、島外の医療機関で妊婦健診を受け、同一医療機関で出産した人に対して通院に係る費用の一部を助成します。

主な経費

妊婦健康診査補助金　2,220万円
出産支援事業補助金　140万円

財源内訳

ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　2,360万円

母（父）子家庭への助成等

担　子育てゆめるん課0799-43-5219

19

R2年度事業費　1億8,295万円
昨年度予算額　2億1,479万円

母（父）子家庭の生活の安定と自立を助けるため、所得に応じて児童扶養手当を支給します。また、婦人共励会への助成や介護士・看護師など就職に有利な資格を取得するために、養成機関において専門的な訓練を受ける場合に、訓練促進費を支給します。

主な経費

児童扶養手当　1億7,253万円
高等技能訓練促進事業補助金　498万円
母子保護費　480万円

財源内訳

市一般財源　1億1,788万円
国庫支出金　6,379万円／県支出金　120万円
児童福祉施設入所者負担金　8万円

就学前児童の教育・保育事業

担　子育てゆめるん課0799-43-5219

20

R2年度事業費　5億6,858万円
昨年度予算額　5億5,776万円

0歳児～小学校就学前の児童の健やかな成長が図られるよう、教育・保育の環境を充実させます。公立の保育所・幼稚園・こども園14施設を運営するほか、私立の保育所等に運営費の補助を行います。

主な経費

保育所運営費　5億2,278万円
幼稚園運営費　3,045万円
認定こども園運営費　1,535万円

財源内訳

市一般財源　1億3,913万円
国庫支出金　1億7,851万円／県支出金　9,340万円
保育料　7,465万円／給食費負担金等　5,439万円
市債（地域活性化事業債）　1,180万円
市債（公共施設等適正管理推進事業債）　100万円
市債（施設整備事業債）　870万円
市債（社会福祉施設整備事業債）　700万円

保育士確保対策事業

担　子育てゆめるん課0799-43-5219

21

R2年度事業費　225万円
昨年度予算額　420万円

保育士不足を解消し、待機児童数の抑制と子育て環境の充実を図るため、島外からの新規採用保育士へ就労支援一時金の支給や民間賃貸住宅等の借上げに要する経費の一部助成を行います。

主な経費

保育士家賃補助金　180万円
保育士就労支援一時金　45万円

財源内訳

市一般財源　112万円
ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　113万円

入学祝金の支給

担　学校教育課0799-43-5231

22

R2年度事業費　353万円
昨年度予算額　370万円

入学祝金を支給することで、子育て世帯の負担軽減を図ります。

主な経費

入学祝金　353万円

財源内訳

ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　353万円

コアカリキュラム開発事業

担　学校教育課0799-43-5231

23

R2年度事業費　131万円
昨年度予算額　267万円

郷土愛あふれる表現力豊かな人づくりのため、人形浄瑠璃等の伝統芸能を活かしてコミュニケーション能力や表現力を養う本市ならではの9年間の教育カリキュラムを実践し、その検証をします。また、コアカリキュラムの実施により、地域の魅力を知る子どもたちを育成し、これからの学びを支える教員の資質向上を図ります。

主な経費

コアカリキュラム開発業務委託料　110万円

財源内訳

市一般財源　76万円
ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　55万円

ＩＣＴ環境整備事業

担　教育総務課0799-43-5230

24

R2年度事業費　1億7万円
昨年度予算額　1億1,533万円

今後の社会において基盤となる情報活用能力を養うため、「GIGAスクール構想」に基づく、各小中学校の高速校内LANを整備します。

また、平成28年度に導入した全小中学校のパソコン等（タブレット端末を含む）や、特色ある学習の取り組みとして令和元年度より沼島小学校へ導入したタブレットドリルを活用し、教育のICT化を推進します。

主な経費

ICT環境整備事業リース料　9,782万円
タブレットドリル使用料　12万円

財源内訳

市一般財源　1億7万円

小中学校施設整備事業（営繕）

担　教育総務課0799-43-5230

25

R2年度事業費　5,210万円
昨年度予算額　2億4,950万円

志知小学校のプールや阿万小学校の空調改修工事、小中学校の体育館の床研磨など、子どもたちが快適な学校生活を送れるように、小中学校施設の改修等を行います。

主な経費

志知小学校プール改修工事　2,270万円
阿万小学校特別支援教室等空調改修工事　520万円
小中学校屋内運動場床研磨改修　1,440万円
小中学校トイレ洋式化　230万円
小中学校防火設備改修事業　750万円

財源内訳

市一般財源　2,850万円
市債（学教教育施設等整備事業債）　1,700万円
市債（地域活性化事業債）　460万円
市債（公共施設等適正管理推進事業債）　200万円

防災ジュニアリーダー養成事業

担　学校教育課0799-43-5231

26

R2年度事業費　245万円
昨年度予算額　263万円

阪神淡路大震災や東日本大震災などを踏まえ、児童生徒が自らの命を守る力を身につけさせる従来の安全教育に加え、防災教育授業や学習会、東北の被災地へ生徒を派遣し、「防災ジュニアリーダー」を養成します。

主な経費

車借上料　130万円
被災地派遣事業負担金　41万円

財源内訳

市一般財源　133万円
ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　112万円

小中学校の英語教育の充実

担　学校教育課0799-43-5231

27

R2年度事業費　5,082万円
昨年度予算額　4,862万円

外国語指導助手（JETプログラム等）を小学校へ4人、中学校へ4人配置し、外国語活動や英語の授業を行います。令和2年度の小学校の英語教育完全実施されることから、外国語活動支援員を配置し、小3～小6の英語教育時間を増やします。

主な経費

外国語指導助手報酬（中学校4人）　1,790万円
外国語指導助手報酬（小学校4人）　1,841万円
外国語活動支援員報酬　714万円
外国人講師住宅借上料　401万円

財源内訳

市一般財源　4,281万円
学校組合負担金　591万円
講師住宅使用料　210万円

不登校対策・心の相談の充実

担　学校教育課0799-43-5231

28

R2年度事業費　1,377万円
昨年度予算額　1,409万円

小中学校の引きこもり等の不登校者を受け入れるため、市内4か所で開設している適応教室で、学校復帰への支援・指導を実施します。教室では、カウンセリングによる教育相談や教育指導などを行います。

主な経費

適応教室指導員報酬　1,219万円

財源内訳

市一般財源　1,202万円
学校組合負担金　175万円

就学援助事業

担　学校教育課0799-43-5231

29

R2年度事業費　4,884万円
昨年度予算額　5,297万円

経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者（要保護及び準要保護世帯）に対して、学用品費・修学旅行費・学校給食費等の一部を援助します。

主な経費

小中学校就学援助費　4,741万円
小中学校特別支援教育就学奨励費　143万円

財源内訳

市一般財源　4,779万円
国庫支出金　105万円

小中学校スクールバス運行事業

担　学校教育課0799-43-5231

30

R2年度事業費　6,700万円
昨年度予算額　7,892万円

遠距離通学児童・生徒の登下校を円滑に行うため、辰美小学校、阿万小学校、西淡中学校、南淡中学校の児童生徒への通学バスを運行します。また令和4年度の倭文中学校統合に向け、三原中学校の通学バスを新設します。バスは登校・下校時に運行します。

主な経費

小中学校通学バス運行委託料　6,700万円

財源内訳

市一般財源　6,700万円

放課後児童クラブ（学童保育）

担　体育青少年課0799-43-5234

31

R2年度事業費　6,878万円
昨年度予算額　8,288万円

保護者の就労等により、昼間に留守となる家庭の児童を対象とした放課後児童クラブを開設します。通常日は放課後から午後6時まで、長期休暇中は午前8時から午後6時まで開設。主に学校敷地内にある施設等を利用して放課後の生活や遊びの場を提供します。

主な経費

支援員報酬等　5,655万円
学童保育業務委託料　555万円

財源内訳

市一般財源　45万円
国庫支出金　1,685万円
県支出金　1,685万円
学童保育利用料　1,599万円
ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　1,864万円

放課後子ども教室

担　体育青少年課0799-43-5234

32

R2年度事業費　683万円
昨年度予算額　601万円

放課後に子どもが活動できる場として、放課後子ども教室を5か所開設しています。申込者は開設日に公民館等へ集まり、地域の人たちの協力を得て、工作やおやつ作りなどの活動を行います。

主な経費

教育活動サポーター謝礼　352万円
教育活動推進員謝礼　218万円
放課後子ども教室コーディネーター謝礼　81万円

財源内訳

市一般財源　192万円
県支出金　108万円
ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　383万円

サマースクール体験事業

担　体育青少年課0799-43-5234

33

R2年度事業費　179万円
昨年度予算額　223万円

地域の人たちの協力を得て、長期休暇に子どもたちがより豊かで有意義に過ごせるよう、サマースクール（やまの学園、サマーチャレンジ教室等）を開催し、宿泊体験交流や理科実験等の活動を行います。

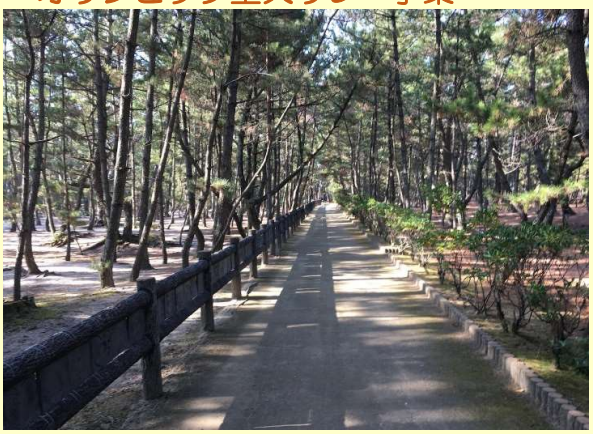
主な経費

教育推進員謝金　103万円

財源内訳

市一般財源　45万円
県支出金　25万円
参加費等　20万円
ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　89万円

オリンピック聖火リレー事業



34

R2年度事業費　880万円
昨年度予算額　0万円（新規）

東京2020オリンピック聖火リレーは、ギリシャアテネの太陽光で採火された炎を開催国内でリレーによって開会式までつなげるものです。聖火リレーはオリンピックへの関心と期待を呼び起こす役目をもっています。

市民へ機運の醸成を促し、世界的祭典を身近に感じ、本市の魅力を広く世界へ発信するため、5月25日慶野松原周辺で実施される聖火リレーコースの整備（段差解消、清掃）、ドローンによる聖火リレーの空撮、聖火リレーゴール地点でのイベント等を実施します。

主な経費

会場設営委託料　471万円
交通警備委託料　100万円
ドローン空撮委託料　80万円
バス借上料　60万円
記念品購入　62万円

財源内訳

県支出金　440万円
ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　440万円

担　体育青少年課0799-43-5234

夢プロジェクト事業
・プロから学ぶ創造力養成事業

35

R2年度事業費　137万円
昨年度予算額　148万

小中学生を対象に、著名なスポーツ・文化人の講師を招き、講演会を開催してスポーツや文化の魅力や楽しさ、努力する大切さを学ぶ機会を提供する「夢プロジェクト事業」や、中学生を対象に、兵庫ゆかりのクリエイターを招聘した講演会等を実施し、豊かな感性を働かせ、新たなアイデアを創造する力を養成する「プロから学ぶ創造力養成事業」を行います。

主な経費

夢プロジェクト事業講師謝礼　70万円
兵庫ゆかりのプロから学ぶ創造力養成事業講師謝礼　20万円

財源内訳

市一般財源　127万円
県支出金　10万円

担　学校教育課0799-43-5231
体育青少年課0799-43-5234

アジア国際子ども映画祭本選大会の開催

36

R2年度事業費　1,400万円
昨年度予算額　1,400万円

第14回アジア国際子ども映画祭を国内9ブロック、アジア15か国地域、少年矯正施設から、作品がノミネートされた子どもたちを招いて南あわじ市で開催します。また、大会を通じてアジアの国々の子どもたちと国際交流を行います。

主な経費

アジア国際子ども映画祭補助金　1,400万円

財源内訳

市一般財源　850万円
国庫支出金　550万円

担　体育青少年課0799-43-5234

社会教育施設改修事業

担　教育総務課0799-43-5230
　　中央公民館0799-43-5038

37

R2年度事業費　2億6,144万円
昨年度予算額　2億4,932万円

公民館などの社会教育施設のうち、耐震補強や老朽化等による改修が必要となった施設・設備を整備します。

令和2年度は、福良地区公民館の大規模改修を引き続き実施するほか、老朽化した阿那賀診療所を丸山地区公民館へ移転することに伴う公民館の改修工事を行います。

主な経費

福良地区公民館大規模改修事業　1億7,491万円
丸山地区公民館改修事業　7,290万円
淡路人形浄瑠璃資料館修繕工事　464万円

財源内訳

市一般財源　2,944万円
市町村振興協会交付金　410万円
市債（合併特例事業債）　1億6,230万円
市債（公共施設等適正管理推進事業債）　6,560万円

淡路人形浄瑠璃の伝承

担　社会教育課0799-43-5232

38

R2年度事業費　4,684万円
昨年度予算額　4,133万円

淡路人形浄瑠璃の後継者育成と人形座の運営費用としての補助と、人形浄瑠璃の保存伝承等を目的とした、ふるさと南あわじ応援寄附金の一部を補助金として（公財）淡路人形協会を支援します。

また、AVIAMA（人形劇の友・友好都市国際協会）と連携して国内外に対するPRを行うほか、名誉市民「竹本駒之助」氏の公演事業への補助や、モニュメント補修も実施します。

主な経費

淡路人形座運営補助金　2,000万円
淡路人形浄瑠璃保存伝承事業補助金　2,140万円
淡路人形協会負担金　310万円
人形浄瑠璃モニュメント修繕費　120万円
義太夫節浄瑠璃保存伝承事業補助金　50万円

財源内訳

市一般財源　2,494万円
企業版ふるさと南あわじ応援寄附金　100万円
ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　2,090万円

松帆銅鐸保存活用事業

担　社会教育課0799-43-5232

39

R2年度事業費　2,718万円
昨年度予算額　3,828万円

松帆銅鐸の分析調査と報告書作成を行い、広く文化財的価値を周知するため滝川記念美術館玉青館で一般公開します。

また、松帆銅鐸をはじめとした市の歴史文化遺産に誘客するため、体験学習ツール開発や情報発信等を行います。

主な経費

遺物保存委託料　196万円
報告書印刷製本　202万円
誘客・情報発信事業　2,200万円

財源内訳

市一般財源　1,168万円
国庫支出金　1,330万円／県支出金　165万円
書籍売払収入　55万円

第3章
地域の資源を活かした
地元産業の活性化

花みどりフェア推進事業

担　商工観光課0799-43-5221
　　社会教育課0799-43-5232
　　体育青少年課0799-43-5234

1

R2年度事業費　2,912万円
昨年度予算額　0万円（新規）

淡路花博20周年記念事業として「花みどりフェア」が秋季と春季に開催されます。秋季は令和2年9月19日から令和2年11月3日で、メイン会場は淡路ファームパーク・イングランドの丘、洲本市市街地。春季は令和3年3月20日から令和3年5月31日で、メイン会場は淡路夢舞台、国営明石海峡公園で開催されます。令和2年度は淡路ファームパーク・イングランドの丘での開会イベントの他、サブ会場として市内各所の会場において事業を計画しています。

主な経費

うずしお世界遺産啓発ライトアップ等業務委託料　730万円
淡路人形浄瑠璃魅力発信事業補助金　2,022万円
松帆銅鐸啓発事業　80万円
慶野松原エコツーリズム事業　10万円

財源内訳

花みどりフェア推進事業負担金　2,080万円
企業版ふるさと南あわじ応援寄附金　100万円
ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　732万円

観光周遊ルート実証運行事業

担　市民協働課0799-43-5244

2

R2年度事業費　402万円
昨年度予算額　0万円（新規）

淡路島地域交通網形成計画に基づき、住民だけでなく観光客も利用しやすい公共交通ネットワークの整備に向けた検討のひとつとして、観光周遊ルートの実証実験として運行します。

令和2年度は「花みどりフェア」の期間中、本市のメイン会場となる淡路ファームパーク・イングランドの丘と陸の港西淡を結ぶルートの運行を計画しています。

主な経費

コミュニティバス運行委託料　402万円

財源内訳

市一般財源　23万円
県支出金　200万円
運賃収入等　179万円

食の拠点施設駐車場整備

担　食の拠点推進課0799-43-5224

3

R2年度事業費　8,300万円
昨年度予算額　0万円（新規）

ゴールデンウィークや夏休み等に、美菜恋来屋や淡路ファームパーク・イングランドの丘の駐車場が不足していることに加え、令和2年度には「花みどりフェア」の開催による来場者増が見込まれるため駐車スペースの整備を行います。

主な経費

駐車場整備工事費　4,300万円
用地購入費　4,000万円

財源内訳

市一般財源　2,080万円
市債（一般事業債）　6,220万円

大鳴門橋周辺環境整備事業

基本構想の策定

4

R2年度事業費　　2,600万円
昨年度予算額　0万円（新規）

大鳴門橋の自転車道整備が具体化したことにともない、淡路島南ICからみさき荘までの周辺整備を行っていきます。令和2年度は基本構想を策定し、令和7年度開催予定の大阪万博に間に合うように整備を進めていきます。

主な経費

周辺環境整備基本構想・基本計画策定業務委託料　2,600万円

財源内訳

県支出金　1,300万円
淡路鳴門岬公園開発基金　1,300万円

大鳴門橋記念館駐車場整備

5

R2年度事業費　　1億2,090万円
昨年度予算額　0万円（新規）

大鳴門橋自転車道構想、道の駅うずしおの再整備計画など、今後の鳴門岬周辺観光圏のさらなる発展に向けて、現在不足している大鳴門橋記念館の駐車場を拡張し、観光客を受け入れるための環境整備を行います。

主な経費

大鳴門橋記念館駐車場工事費　1億1,800万円
工事監理委託料　290万円

財源内訳

淡路鳴門岬公園開発基金　1億2,090万円

担　商工観光課0799-43-5221

産業活力アップ起業支援事業補助金

6

R2年度事業費　　900万円
昨年度予算額　0万円　（新規）

市内の起業の促進、地域経済の活性化及び雇用の確保を図るため、起業時に要する費用に対し補助金を交付します。対象となる経費は事務所等開設費などの初期費用と、起業後における光熱水費などのランニングコストの一部を補助します。基本補助限度額は100万円で女性加算等により50万円が追加されます。

また、兵庫県と協調し高度IT技術を要する起業家や企業のサテライトオフィスの開設費の一部にも補助を行います。

主な経費

産業活力アップ起業支援事業補助金　900万円

財源内訳

市一般財源　450万円
ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　450万円

担　商工観光課0799-43-5221

資源循環型産業体系構築事業

担　農林振興課0799-43-5223

7

R2年度事業費　　1,850万円
昨年度予算額　0万円（新規）

野菜残さや下水汚泥、生ごみ等を複合的に処理し、処理に際して発生する堆肥等を有効に利活用するための技術的な実現可能性調査を実施します。

また、この調査に基づき資源循環型産業体系確立のためのマスタープランを策定します。

主な経費

資源循環産業体系構想策定業務委託料　　1,250万円
事業系食品廃棄物エネルギー利用対策調査業務委託料　600万円

財源内訳

国庫支出金　1,850万円

農業女子プロジェクト事業

担　農林振興課0799-43-5223

8

R2年度事業費　　180万円
昨年度予算額　180万円

女性農業者同士の連携を深め活躍の場を創出するため、4人以上で組織する女性農業者のグループが取り組む新品種の栽培、地産メニューの開発やPR活動等に対し、10万円を上限に補助を行います。

また、個々のグループ活動に対する支援だけでなく、交流会の開催や研修費用の補助等を行い、女性農業者の更なる活躍を支援し、南あわじ農業の活性化を目指します。

主な経費

農業女子プロジェクト事業補助金　130万円
農業女子プロジェクト連絡協議会補助金　50万円

財源内訳

市一般財源　90万円
ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　90万円

食の拠点づくり推進事業

担　食の拠点推進課0799-43-5224

9

R2年度事業費　　2,419万円
昨年度予算額　3,087万円

淡路島の野菜、肉、魚、酪農乳製品等の特産品が集まるあわじ島まるごと食の拠点施設において、出荷農家の販売品目の多様化を進めるとともに、特産品のPRやイベントの開催など都市と農村の交流を支援します。

市や淡路島の季節ごとの特産品や観光情報等を、マスコミ関係にプレスリリースしPRを行います。

主な経費

シャトルバス運行負担金　800万円
農商工連携・地域資源プロモーション業務委託料　300万円
食の拠点施設指定管理料　900万円

財源内訳

市一般財源　864万円
県支出金　150万円
ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　1,405万円

和牛・乳牛畜産農家の支援

担　農林振興課0799-43-5223

10

R2年度事業費　4,470万円
昨年度予算額　4,761万円

乳牛では、労働軽減や乳質向上を目指して育成牛を北海道に預託する事業や、雌選別精液、血統登録等を支援します。和牛では、優良な但馬牛の市場導入及び自家保留の取組み等を支援します。

また、本市で開催される県内の優秀な和牛が集う兵庫県畜産共進会や、淡路広域行政事務組合が運営する食肉センター事業の一部を負担します。

主な経費

食肉センター負担金　2,515万円
酪農振興事業補助金（雌精液・血統登録助成等）　600万円
南あわじ市「食」まつり・畜産共進会負担金　430万円
兵庫県畜産共進会負担金　400万円
優良和牛自家保留事業補助金（但馬牛増頭）　240万円

財源内訳

市一般財源　4,350万円
県支出金　120万円

有害鳥獣対策事業

担　農林振興課0799-43-5223

11

R2年度事業費　6,347万円
昨年度予算額　5,090万円

有害鳥獣の捕獲や被害防止柵整備等を支援し、シカ・イノシシなどによる農林業等への被害拡大を防止します。

また、講習会受講や狩猟免許取得費用の助成による狩猟者の人材育成及び担い手確保や、有識者の受入れや啓発により住民意識の醸成を図ります。

主な経費

捕獲事業　3,344万円
回収・処理事業　630万円
被害防止対策事業（防護柵等）　2,060万円
ドローン活用事業　200万円

財源内訳

市一般財源　2,881万円
県支出金　3,466万円

新規就農者支援事業

担　農林振興課0799-43-5223

12

R2年度事業費　1,150万円
昨年度予算額　1,075万円

新規就農者等に対して、所得を確保するための人材投資資金（上限150万円×５年間）の支給、空き施設の改修整備に対して事業費の1/2の補助、また、若手農業者への研修費用等の補助を行います。

主な経費

農業次世代人材投資事業補助金　1,050万円
新規就農者初期経営支援事業補助金　100万円

財源内訳

県支出金　1,150万円

担い手倍増経営体育成事業

担　農林振興課0799-43-5223

13

R2年度事業費　　200万円
昨年度予算額　500万円

親元農業経営体に対して、経営分離により懸念される収入減少と経費の増加を軽減するための補助金を交付し、経営分離を行いやすい環境を整えることによりUターン就農者の増加を図ります。

主な経費

担い手倍増経営体モデル育成事業補助金　200万円

財源内訳

市一般財源　100万円
県支出金　100万円

未来の担い手確保・育成総合支援事業

担　農林振興課0799-43-5223

14

R2年度事業費　　120万円
昨年度予算額　100万円

吉備国際大学生等に現場での農業体験や研修を通じた支援を行います。また、新規就農者の受け皿となる地域受入体制の強化や就農希望者確保のための情報発信など担い手の確保・育成の支援を行います。親方農家については雇用者を確保しやすくするため、法人化研修会やセミナー、経営改善のための研修会等の支援をします。

主な経費

未来の担い手確保・育成支援事業補助金　120万円

財源内訳

市一般財源　120万円

林道橋調査事業

担　農林振興課0799-43-5223

15

R2年度事業費　　1,000万円
昨年度予算額　500万円

国のインフラ長寿命化計画に基づき、令和元年度に実施した市内にある林道橋の補修設計をもとに、順次必要な補修等を実施していきます。

令和2年度は、林道上田線の無名橋・中ノ子橋の2橋について、コンクリートのクラック補修、ガードレールの修復等を行います。

主な経費

林道橋改修工事費　1,000万円

財源内訳

市一般財源　50万円
県支出金　510万円
市債（公共事業等債）　440万円

ほ場整備事業

担　農地整備課0799-43-5225

16

R2年度事業費　4億6,854万円
昨年度予算額　2億6,049万円

農地の区画形質の改善と用排水路や農道の整備等をすることで効率的な営農を展開するため、ほ場整備を行います。

主な経費

県営ほ場整備受託事業（八幡北）　1億8,900万円
県営ほ場整備事業負担金
（新田・國衙・養宜・片田・八幡北・長田・阿万）　1億8,854万円
コンクリート畦畔整備工事（新田）　9,000万円

財源内訳

市一般財源　1,414万円
県支出金　2億4,480万円
地元分担金　1,350万円
市債（合併特例事業債）　1億9,610万円

地籍調査事業

担　農地整備課0799-43-5225

17

R2年度事業費　4,698万円
昨年度予算額　7,228万円

土地の境界や面積・地目を明確にするため、市内各地で地籍調査を行います。令和2年度は5地区（倭文長田、松帆櫟田、湊、津井、阿那賀）の測量を実施します。

主な経費

三角多角等測量業務委託料　873万円
地籍管理システム借上料　184万円
伐採作業委託料　80万円

財源内訳

市一般財源　3,205万円
県支出金　1,473万円
公簿・図面等手数料　15万円
図面等コピー使用料　5万円

ため池等整備事業

担　農地整備課0799-43-5225

18

R2年度事業費　8,882万円
昨年度予算額　1億7,549万円

ため池に関わる災害を未然に防止し、ため池の保全を図るため、堤体の水漏れ防止や取水施設・洪水吐などの改修工事を行います。改修をすることで、かんがい用水の安定的な確保と維持管理の省力化、洪水被害の軽減を図ります。

主な経費

市営農村地域防災減災事業費　4,100万円
県営農村地域防災減災事業費　4,568万円
ため池等整備事業　214万円

財源内訳

市一般財源　528万円／県支出金　4,215万円
地元分担金　369万円
市債（公共事業等債）　3,770万円

オニオンロードの整備

担　農地整備課0799-43-5225

19

R2年度事業費　6,374万円
昨年度予算額　6,150万円

オニオンロード（南淡路広域農道）は南あわじ市阿万から洲本市千草までの約19.6kmの農道です。農業機械の大型化による農産物の集出荷の効率化を図るため平成6年に兵庫県が着工して工事が進められており、経費の一部を負担します。

主な経費

県営広域営農団地農道整備事業負担金　6,374万円

財源内訳

市一般財源　644万円
市債（公共事業等債）　5,730万円

多面的機能支払事業

担　農地整備課0799-43-5225

20

R2年度事業費　2億4,738万円
昨年度予算額　2億4,247万円

農業者と地域住民で構成する「活動組織」が、地域ぐるみで取組む農地・農業用水等の資源の保全管理活動や農村環境の保全活動及び老朽化が進む水路・農道等の施設の長寿命化のための補修・更新等を支援します。

主な経費

多面的機能支払活動支援交付金　2億4,410万円
内訳：農地維持＋資源向上（共同活動）　1億3,540万円
　　資源向上（長寿命化）　1億870万円

財源内訳

市一般財源　6,193万円
県支出金　1億8,545万円

淡路島マダイの魅力再発信事業

担　水産振興課0799-43-5243

21

R2年度事業費　200万円
昨年度予算額　200万円

献上鯛で注目を集めている淡路島産のマダイを、淡路島全体でPRすることにより、より一層のマダイのブランド力と魚価単価の向上を図るため経費の一部を負担します。

淡路島全体でマダイのPR（ワークショップ、グルメ開発、情報発信等）を行い、ブランド化及び魚価のアップを目指す。

主な経費

淡路島マダイPR事業負担金　200万円

財源内訳

県支出金　100万円
ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　100万円

漁場改良造成事業

栄養塩供給・底質改善試験事業

22

R2年度事業費　1,780万円
昨年度予算額　350万円

三原川河口沿岸域は上流から砂や栄養塩が流れてこなくなったことから、海底のヘドロ化が発生しており、水産生物に悪影響を与えています。このため河川浚渫土（砂）を利用した覆砂工事によって、栄養塩の供給と底質改善を行うとともに、攪拌魚礁も設置することで更なる漁場環境の改良を図ります。

また、令和元年度に設置したナマコ礁のモニタリング調査を行います。

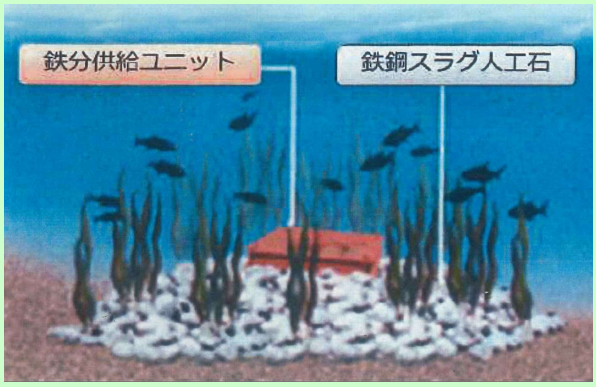
主な経費

攪拌魚礁設置工事　640万円
覆砂工事　990万円
底質改善魚礁モニタリング調査業務委託料　150万円

財源内訳

市一般財源　410万円
市債（一般事業債）　1,220万円

藻場造成事業



23

R2年度事業費　110万円
昨年度予算額　0万円（新規）

稚魚の産卵・育成場である藻場の減少が続いており、原因として栄養塩及び鉄分不足が考えられてます。

全国各地で豊富な試験実績を持つ企業の協力のもと、市内海域において、「鉄分不足」対策の藻場の造成試験を行います。

主な経費

藻場造成試験工事施工監理業務委託料　110万円

財源内訳

市一般財源　110万円

並型魚礁設置

24

R2年度事業費　3,000万円
昨年度予算額　3,000万円

漁場の生産性を高めるため、並型魚礁を設置することで漁場環境を改善します。

主な経費

並型魚礁設置工事費　2,900万円
魚礁効果調査委託料　94万円

財源内訳

市一般財源　70万円
県支出金　2,500万円
市債（公共事業等債）　430万円

担　水産振興課0799-43-5243

南あわじ市漁業再生指導事業

担　水産振興課0799-43-5243

25

R2年度事業費　230万円
昨年度予算額　200万円

水産振興の有識者を招き、漁協・直販試験の指導、漁業者研修、資源漁場管理などに取り組み、漁業者の所得向上を目指します。

主な経費

漁業再生指導業務講師等手数料　210万円

財源内訳

県支出金　115万円
ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　115万円

栽培漁業推進事業（中間育成）

担　水産振興課0799-43-5243

26

R2年度事業費　1,401万円
昨年度予算額　1,451万円

年々減少傾向にある漁獲量を増やし、漁業経営の安定を図るため、タイやヒラメ、クルマエビ等の稚魚を福良洲崎や湊港内の中間育成施設で育成し、放流します。キジハタやオコゼなどの魚価が高く、定着性のある根付きの魚（地元に棲む魚）の放流も行い、将来にわたって安定的に魚が獲れるよう「つくり育てる漁業」を推進します。

主な経費

中間育成事業委託料　1,301万円
浅海域増殖事業補助金　100万円

財源内訳

市一般財源　1,401万円

漁協への支援（水産資源の確保）

担　水産振興課0799-43-5243

27

R2年度事業費　335万円
昨年度予算額　435万円

漁獲量の減少や魚価の低迷による漁業経営の悪化を改善するため、アオリイカの産卵床（ウバメガシ）や産卵用タコ壺の設置、ワカメ種苗の生産試験といった資源増殖の取り組みに対して補助金を交付します。

主な経費

水産資源増大事業補助金（タコ壺・アオリイカ）　285万円
ワカメ種苗生産試験補助金　50万円

財源内訳

市一般財源　335万円

灘漁港改修事業

担　水産振興課0799-43-5243

28

R2年度事業費　1,800万円
昨年度予算額　7,000万円

地震・津波から灘・沼島間の唯一の公共交通機関（海上交通機能）を守るために、灘漁港の浮桟橋周辺の護岸の耐震化工事を実施します。

また越波による漁港内や停泊船の被害を防ぐため、西防波堤の修築工事を実施します。

主な経費

灘漁港護岸耐震化実施設計委託料　1,300万円
灘漁港西防波堤修築実施設計委託料　500万円

財源内訳

市一般財源　100万円
県支出金　900万円
市債（公共事業等債）　800万円

鳴門の渦潮世界遺産登録を推進

担　うずしお世界遺産推進課0799-43-5207

29

R2度事業費　661万円
昨年度予算額　394万円

世界に誇る鳴門海峡の渦潮について、世界遺産への登録を推進し、人類共通の財産として地域の関心や愛着を高めるとともに、ふるさと資源として保全と活用を行い、地域の活性化に繋げていくため、学術調査や情報発信を行う協議会へ負担金を支出します。

また、本市と同様に渦潮を有するノルウェー ボーダ市との友好都市提携を推進します。

主な経費

兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会負担金　283万円
友好都市提携関連経費　129万円

財源内訳

市一般財源　478万円
淡路広域行政事務組合負担金　183万円

陸の港西淡管理事業

担　市民協働課0799-43-5244

30

R2年度事業費　2,422万円
昨年度予算額　3,357万円

公共交通利用者にとっての本市の玄関口である陸の港西淡において、切符販売、土産物等販売、観光案内、レンタサイクルの管理等の運営業務を行います。

主な経費

陸の港西淡運営管理業務委託料　2,007万円
草刈等清掃業務委託料　63万円

財源内訳

市一般財源　414万円
県支出金　1,000万円
行政財産使用料（自動販売機設置使用料）　16万円
乗車券販売手数料等　992万円

観光客誘致への支援

担　商工観光課0799-43-5221

31

R2年度事業費　2,717万円
昨年度予算額　2,717万円

インバウンド対策として、東京オリンピックやワールドマスターズ、大阪万博を契機に訪れる外国人観光客に向けた誘客プロモーションや、外国人観光客を受け入れるための人材育成セミナーなど「淡路島総合観光戦略」に基づき、淡路島が一体となった観光施策経費の一部を負担し観光客誘致を目指します。

また御食国・和食の祭典や淡路島日本遺産については、「日本のはじまり淡路島」をスローガンとしPR、誘客するための経費の一部を負担します。

主な経費

淡路島観光協会補助金　1,250万円
淡路島総合観光戦略推進事業負担金　1,120万円
淡路島観光圏協議会負担金　100万円
「御食国ブランド」確立促進事業負担金　100万円
淡路島日本遺産委員会負担金　140万円

財源内訳

市一般財源　2,147万円／国庫支出金　570万円

サイクリスト支援事業

担　商工観光課0799-43-5221

32

R2年度事業費　515万円
昨年度予算額　1,625万円

ASAトライアングル交流圏推進協議会において、3市のサイクリングツーリズムを活性化させるため、南あわじ・鳴門間の自転車輸送、ガイドマップの作成、関連イベント等を行います。

主な経費

サイクリスト支援事業委託料　500万円

財源内訳

市一般財源　243万円
国庫支出金　250万円
レンタサイクル使用料　20万円
サイクルステーションコインロッカー使用料　2万円

にぎわいづくり事業

担　商工観光課0799-43-5221

33

R2年度事業費　1,000万円
昨年度予算額　1,000万円

市内の観光事業者、商工団体、NPO法人等が主体となって、新たなイベント等で交流人口の増加を目指す「にぎわいづくり」事業に対し補助金を交付します。

主な経費

南あわじ市にぎわいづくり事業補助金　1,000万円

財源内訳

市一般財源　500万円
ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　500万円

温泉地魅力アップ事業

担　商工観光課0799-43-5221

34

R2年度事業費　　150万円
昨年度予算額　150万円

市内には泉質の異なる6種類の泉源があり、湧出する温泉は市民の健康増進及び観光客誘致に重要な役割を担っています。温泉地としての魅力をさらに向上させるために実施するプロモーション事業に対して補助金を交付します。

主な経費

温泉地魅力アップ事業補助金　150万円

財源内訳

市一般財源　150万円

イングランドの丘の管理運営

担　商工観光課0799-43-5221

35

R2年度事業費　　1億486万円
昨年度予算額　1億486万円

野菜や果物の収穫体験、動物とのふれあいなどを楽しむことができる観光施設「淡路ファームパークイングランドの丘」の管理・運営を支援し、コアラを観光の目玉として市内への観光客の誘致を図ります。

主な経費

コアラ等特殊動植物管理委託料　8,910万円
地元特産物PR補助金　284万円

財源内訳

市一般財源　160万円
県支出金　1億306万円
建物共済分担金　20万円

慶野松原海水浴場ビーチクリーナー購入

担　商工観光課0799-43-5221

36

R2年度事業費　　1,910万円
昨年度予算額　0万円　（新規）

ビーチクリーナーの老朽化に伴い、ビーチクリーナーを新たに購入し、次世代に向け「白砂清松」の慶野松原ビーチの環境保全を図ります。

主な経費

ビーチクリーナー購入費　1,910万円

財源内訳

市債（一般事業債）　1,430万円
ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　480万円

灘黒岩水仙郷の管理運営

担　商工観光課0799-43-5221

37

R2年度事業費　521万円
昨年度予算額　1,271万円

淡路島の冬の風物詩となっている灘黒岩水仙郷では、例年12月下旬～2月下旬にかけて500万本の水仙が開花します。シーズン中の観光客や住民の受け入れを目指し、適切な管理・運営に努めます。灘・沼島観光ふるさと会（指定管理者）が管理しています。

今後は老朽化が進む管理棟の解体を含め、急勾配である園路の管理など適切運営に努めていきます。

主な経費

水仙郷園地安全対策工事費（施設修繕）　200万円
灘黒岩水仙郷管理等解体調査設計　290万円

財源内訳

灘黒岩水仙郷施設使用料　286万円
公共施設等整備基金　235万円

地域おこし企業人派遣事業

担　商工観光課0799-43-5221

38

R2年度事業費　840万円
昨年度予算額　840万円

三大都市圏に所在する民間企業からの社員派遣を受け、陸の港西淡を南あわじ市の観光の玄関口とした観光振興、インバウンド事業等に取り組むため、そのノウハウや専門的知見を活用します。

主な経費

地域おこし企業人派遣負担金　840万円

財源内訳

市一般財源　840万円

売り出そう！南あわじ物産販売促進・三力発信推進事業

担　商工観光課0799-43-5221

39

R2年度事業費　510万円
昨年度予算額　690万円

国内における販路拡大と南あわじ市ブランドの構築を図るため、全国で実施されるイベント・催事に出展します。また、平成28年度より事業を開始した三力（魅力、見力、味力）発信事業においては、引き続き三力発信協力店舗の発掘に努めます。

主な経費

売り出そう！南あわじ物産販売促進事業関連　180万円
販売戦略事業委託料　330万円

財源内訳

市一般財源　510万円

新製品・新技術開発促進事業

担　商工観光課0799-43-5221

40

R2年度事業費　200万円
昨年度予算額　200万円

中小企業や個人事業者が新たな事業展開に必要な新製品・新技術開発に対して補助金を交付します。
（補助率は1/2、1件あたり上限100万円）

主な経費

新製品・新技術開発等支援補助金　200万円

財源内訳

市一般財源　100万円
ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　100万円

商工業団体等への補助

担　商工観光課0799-43-5221

41

R2年度事業費　3,450万円
昨年度予算額　3,464万円

商工業活性化事業として、南あわじ市商工会や淡路瓦工業組合など商工振興を目指す団体へ補助金を交付します。補助金は、中小企業の健全な育成や地場産業の販路拡大、技術向上、教育事業、PR活動などに活かされます。

主な経費

商工会補助金　2,750万円
地場産業（淡路瓦）ブランド形成支援事業補助金　700万円

財源内訳

市一般財源　3,450万円

地域おこし協力隊推進事業

担　ふるさと創生課0799-43-5205
（商工観光課、食の拠点推進課）

42

R2年度事業費　1,379万円
昨年度予算額　2,837万円

人口減少や高齢化などの地域課題に対して、都市部から意欲ある人材を地域おこし協力隊として受け入れ、農産物の直売イベント、地域行事への参加及び実施、観光資源の発掘、地域情報の発信などに従事していただくことにより、地域力の維持・強化を図ります。

主な経費

地域おこし協力隊員報酬ほか（3人）　627万円
活動費　452万円
起業支援補助金　300万円

財源内訳

市一般財源　1,366万円
住宅使用料　13万円

第4章
安全・安心のまちづくり

排水対策事業

担　建設課0799-43-5226

1

R2年度事業費　　2億2,230万円
昨年度予算額　7,750万円

高潮や津波浸水軽減対策として、兵庫県が実施する防潮堤や水門等の整備に伴い、高潮時の雨水を効率よく排水するための内水排水対策を並行して実施します。

令和２年度は福良湾周辺の仁尾地区、浜町地区と三原川周辺の古津路地区の高潮、排水対策工事を行います。

主な経費

高潮対策関連工事費　2億300万円
実施設計等業務委託料　1,930万円

財源内訳

市債（緊急防災・減災事業債）　2億2,230万円

治水総合対策事業

担　建設課0799-43-5226

2

R2年度事業費　　2,000万円
昨年度予算額　3億円8,350万円

三原川流域等で発生する浸水被害を防止軽減するため、排水ポンプの新設や排水機場の更新を実施します。

令和２年度は倭文川の矢板護岸整備と湊東地区の県道横断排水管工事を実施します。

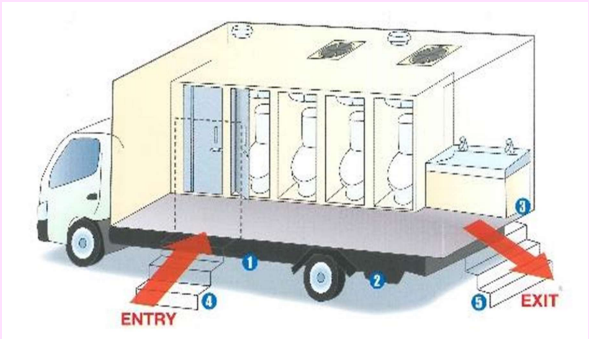
主な経費

排水施設整備工事費　500万円
護岸整備工事費　1,500万円

財源内訳

市債（防災対策事業債）　500万円
市債（緊急自然災害防止対策事業債）　1,500万円

自走式水洗トイレカーの導入



担　危機管理課0799-43-5203

3

R2年度事業費　　1,600万円
昨年度予算額　0万円（新規）

災害時のトイレ対策として、発災後速やかに設置可能となる水洗式の清潔で明るく、安全で、障がい者等も利用できる自走式のトイレカーを導入します。

主な経費

トイレカー購入費　1,600万円

財源内訳

市債（緊急防災・減災事業債）　1,600万円

消防防災体制の充実

担　危機管理課0799-43-5203

4

R2年度事業費　1億720万円
昨年度予算額　8,000万円

老朽化した消防団の消防車両（中筋、庄田、安住寺、松帆1-4、二宮、賀集3-1、北阿万2-1、北阿万3-2、灘2-2）や小型動力ポンプの整備、更新を行います。また、消防屯所や器具庫等の新築、改修等へ補助を行い、消防・防災体制の充実を図ります。

主な経費

消防施設用備品購入費（車両、ポンプ）　4,910万円
消防設備整備等補助金　5,810万円

財源内訳

市一般財源　415万円
県支出金　5万円
市債（緊急防災・減災事業債）　1億30万円
市債（辺地対策事業債）　270万円

災害用避難経路の整備

担　危機管理課0799-43-5203

5

R2年度事業費　250万円
昨年度予算額　330万円

大規模災害に備え、指定避難所である西淡中学校に太陽光で発電及び蓄電ができるLED避難誘導灯を設置します。また自治会施工の避難経路整備に対して補助を行います。

主な経費

避難経路整備補助金　100万円
太陽光避難灯設置工事費　150万円

財源内訳

市一般財源　100万円
市債（緊急防災・減災事業債）　150万円

自主防災組織等の育成

担　危機管理課0799-43-5203

6

R2年度事業費　797万円
昨年度予算額　737万円

自主防災組織の育成のため防災学習会や自主防災訓練に対し、補助を行います。また、大規模災害に備えて、防災士や防災リーダー育成を目指し、資格取得のための助成を行います。

主な経費

自主防災組織育成事業補助金　760万円
地域防災リーダー養成補助金　25万円
防災士資格取得受講負担金　12万円

財源内訳

市一般財源　797万円

消防団活動の充実

7

R2年度事業費　　4,653万円
昨年度予算額　4,533万円

消防団は災害時に地域で即時に対応し、厳しい状況の中でも長時間にわたり災害対応に当たらなければなりません。今後想定される南海トラフ地震への備え、自主防災組織等と連携した日々の訓練や機器の点検など、多岐にわたる消防団の活動に対して支援を行います。

主な経費

消防団員報酬　2,975万円
出動手当・訓練手当　1,240万円
消防団活動補助金　438万円

財源内訳

市一般財源　4,653万円

担　危機管理課0799-43-5203

防犯カメラ設置事業

8

R2年度事業費　　120万円
昨年度予算額　120万円

地域の見守り力の向上を図るため、自治会等の地域団体が行う防犯カメラ設置に要した経費の一部に対して、補助を行います。

主な経費

防犯カメラ設置補助金　120万円

財源内訳

市一般財源　120万円

担　危機管理課0799-43-5203

交通安全施設の充実

9

R2年度事業費　　1,586万円
昨年度予算額　1,730万円

交通安全推進のため、カーブミラーや防犯灯を整備します。また、破損したカーブミラーの修繕や防犯灯の電球・器具の交換など既存の設備の修繕も行います。

主な経費

市所有防犯灯の電気代　1,022万円
防犯灯及びカーブミラー設置、修繕、材料費　564万円

財源内訳

市一般財源　1,586万円

担　危機管理課0799-43-5203

犯罪被害者等支援制度の創設

担　危機管理課0799-43-5203

10

R2年度事業費　30万円
昨年度予算額　0万円（新規）

本市における殺人などの故意の犯罪行為により、不慮の死を遂げた犯罪被害者の遺族や、重傷病という重大な被害を受けた犯罪被害者の方に対して経済的な負担等の軽減を図るために、重傷病支援金等の支給を行います。

主な経費

犯罪被害者等支援金　30万円

財源内訳

市一般財源　30万円

道路橋梁等長寿命化事業

担　建設課0799-43-5226

11

R2年度事業費　1億8,850万円
昨年度予算額　1億1,450万円

市が管理する橋梁の劣化・損傷状態を調査するため、令和2年度は橋梁定期点検を実施し橋梁の健全度を判定します。また、今後増加が見込まれる橋梁の修繕に対応するため、長寿命化計画に沿って事業を実施し、通行の安全確保に努めます。

主な経費

橋梁長寿命化点検委託料　1億1,900万円
橋梁長寿命化修繕工事費　2,800万円
路面性状調査業務委託料　650万円
市内道路舗装修繕工事費　1,740万円

財源内訳

市一般財源　977万円
国庫支出金　9,433万円
市債（公共事業等債）　6,400万円
市債（合併特例事業債）　2,040万円

河川や都市排水路の維持

担　建設課0799-43-5226

12

R2年度事業費　5,890万円
昨年度予算額　5,930万円

堆積土砂撤去等の河川整備工事や、排水路・開渠の整備工事を実施し、治水安全性の向上を図ります。

主な経費

排水路整備工事費（6か所）　1,650万円
河川維持工事費（5か所ほか）　1,750万円
河川環境整備工事費（5か所）　1,600万円

財源内訳

市一般財源　3,840万円
県支出金　800万円
市債（緊急浚渫推進事業債）　1,250万円

空家等対策事業

担　建設課0799-43-5226

13

R2年度事業費　1,420万円
昨年度予算額　456万円

倒壊等により周辺へ危害を与える可能性がある建物の除去に対して費用の一部を補助します。

主な経費

老朽危険空家除却支援事業補助金　1,332万円

財源内訳

市一般財源　421万円
国庫支出金　666万円
県支出金　333万円

ひょうご住まいの耐震化促進事業

担　建設課0799-43-5226

14

R2年度事業費　945万円
昨年度予算額　1,000万円

地震による住宅の倒壊及び地震に起因する人的被害を減少させるため、低額の木質シェルターや防災ベッドの購入に対して補助を行います。

また、耐震診断の結果、耐震性が低いと判定された住宅の建替え、耐震改修工事、危険ブロック塀撤去等に対しても補助を行います。

主な経費

ひょうご住まいの耐震化事業補助金　845万円
ブロック塀撤去補助金　100万円

財源内訳

市一般財源　224万円
国庫支出金　473万円
県支出金　248万円

火葬場建設事業

担　環境課0799-43-5214

15

R2年度事業費　6億7,647万円
昨年度予算額　6億7,646万円

現在の火葬場老朽化に伴い、環境に配慮した最新の火葬炉を備えた新火葬場を桜花の郷に建設します。

主な経費

火葬場建設工事費　6億6,300万円
火葬場建設施工監理業務委託料　1,300万円

財源内訳

市一般財源　3,427万円
市債（合併特例事業債）　6億4,220万円

下水放流施設建設事業

16

R2年度事業費　　4億9,247万円
昨年度予算額　5億3,446万円

衛生センターの機能を移転するため、神道浄化センター跡地に下水放流施設を建設します。

主な経費

下水放流施設建設工事費　4億8,500万円
下水放流施設建設施工監理業務委託料　　700万円

財源内訳

市一般財源　　2,467万円
市債（合併特例事業債）　　4億6,780万円

担　環境課0799-43-5214

生活困窮者支援

17

R2年度事業費　　6億850万円
昨年度予算額　6億1,127万円

資産や能力等すべてを活用してもなお生活に困窮する方に対し、困窮の程度に応じて生活保護費を支給します。

また市役所に生活困窮者自立相談支援員を配置して常時窓口や電話相談に応じるとともに、就労支援員も配置し毎月２回のハローワーク巡回相談を開設するなど就労支援・相談にも応じています。

主な経費

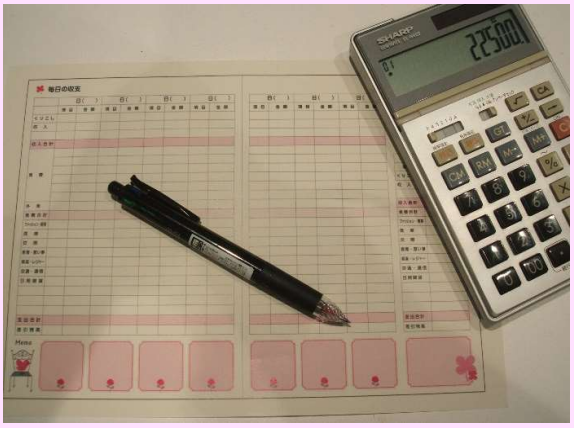
医療扶助費　　3億7,136万円
生活扶助費　　1億4,113万円
住宅扶助費　　3,879万円
生活困窮者自立支援法関係事業　　1,423万円

財源内訳

市一般財源　　1億4,446万円
国庫支出金　　4億5,727万円
県支出金　　677万円

担　福祉課0799-43-5216

生活の安定を目的とした福祉施策



18

R2年度事業費　　1,980万円
昨年度予算額　0万円（新規）

水道料金福祉減免制度とケーブルテレビ視聴支援金制度の廃止による家計への負担増の軽減を図るために、新たな福祉施策として水道基本使用料等への補助により生活への支援を行います。

主な経費

水道基本使用料等生活支援福祉補助金　　1,980万円

財源内訳

市一般財源　　1,980万円

担　福祉課0799-43-5216

第５章
「対話と行動の行政」の
実現によるまちづくり

地域づくりチャレンジ事業への補助

担　市民協働課0799-43-5244

1

R2年度事業費　1,017万円
昨年度予算額　1,015万円

地域が抱える課題解決に向けて具体的に取り組む事業に対して、行政がサポート役となり実現を後押しします。

市民交流センター及び市民協働課が地域と行政の繋ぎ役となり、事業者、地域、行政が互いの強みを活かした最善な対処方法を、対話を行いながら考えていきます。また、話し合いから行動に移す際に必要となる事業立ち上げ時の経費に対して補助を行います。

主な経費

地域づくりチャレンジ補助金　1,000万円
地域づくりチャレンジ補助金外部審査員謝礼　12万円

財源内訳

市一般財源　17万円
県支出金　500万円
基金利子（地域振興基金）　500万円

協働のまちづくり

担　市民協働課0799-43-5244

2

R2年度事業費　1,624万円
昨年度予算額　1,684万円

まちづくりをみんなで支え合う体制づくりをめざし、市民（地域）と行政との協働を適正に行うための仕組みを地域とともに創造します。

21地区の地域づくり協議会が実施する地域づくり事業に対し、地域づくり事業交付金による財源支援、市民交流センターによる事務局支援を行うことで、南あわじ市における住民主体の地域づくりの機運を高めていきます。

主な経費

地域づくり事業交付金（基礎事業）　1,500万円
〃　（地域協働事業）　26万円

財源内訳

市一般財源　124万円
県支出金　750万円
基金利子（地域振興基金）　750万円

地域コミュニティの支援

担　市民協働課　0799-43-5244

3

R2年度事業費　3,472万円
昨年度予算額　3,188万円

住民福祉の向上や行政活動の推進等のため活動している連合自治会への補助や、自治功労者の表彰、自治会集会所の新築・改修工事やテレビ視聴料金に対する助成を行います。

また、自治会所有の集会所敷地内の危険ブロック塀等を撤去するための補助金を創設します。撤去後のフェンス、柵等の設置は対象外で補助率は1/2、補助上限額は300万円です。

主な経費

自治会活動補助金　1,794万円
集会所改修補助金　1,080万円
集会所テレビ利用料補助金　356万円
ブロック塀撤去補助金　200万円

財源内訳

市一般財源　2,286万円
基金利子（地域振興基金）　1,186万円

市民交流センター運営事業

担　市民協働課0799-43-5244

4

R2年度事業費　　1億3,052万円
昨年度予算額　1億951万円

市内21地区で、市民と行政が一体となった「協働によるまちづくり」を進めるため、市民がお互いに話し合う場づくりや課題等について情報共有できる「地域づくり」の拠点として活用のできる「市民交流センター」の運営を行います。市民交流センターでは、地域主体の地域づくりに向けた地域コミュニティの支援、市役所窓口サービスの補完等を行います。

主な経費

市民交流センター長報酬、事務補助員報酬等　1億2,776万円

財源内訳

市一般財源　1億3,052万円

ふるさと南あわじ応援寄附金事業の奨励

担　ふるさと創生課0799-43-5205

5

R2年度事業費　　3億5,700万円
昨年度予算額　3億265万円

ふるさと南あわじ応援寄附金事業を奨励し、本市の特産品や地域の課題解決サービスなどを返礼品として贈答することにより、全国に向けて「南あわじ市」をPRし、地域経済の活性化に繋げます。

また、魅力ある返礼品の掘り起しを進めるとともに、ふるさと納税ポータルサイトの追加や首都圏でのイベント開催等を通じて、「ふるさと南あわじ応援寄附金」の増加を目指します。

主な経費

寄附金返礼品　2億1,000万円
返礼品配送代　4,900万円
ポータルサイト利用料　5,551万円

財源内訳

市一般財源　3億5,700万円

ふるさと創造支援事業補助金

担　ふるさと創生課0799-43-5205

6

R2年度事業費　　500万円
昨年度予算額　0万円（新規）

本市から事業認定を受けて市内で自ら地域づくりに取り組む市民団体や、地域の産業や資源を活用して創業する事業者に対し、ガバメント・クラウドファンディングにより調達したふるさと南あわじ応援寄附金を活用し支援します。

主な経費

ふるさと創造支援事業補助金　500万円

財源内訳

ふるさと南あわじ応援寄附金　500万円

ふるさと同窓会応援事業

担　ふるさと創生課0799-43-5205

7

R2年度事業費　　150万円
昨年度予算額　0万円（新規）

関係人口の増加、移住定住の促進及び地域経済の活性化を図るため、市内で同窓会等を開催し、出席者が10人以上でうち市外の方が3分の1以上であるなど、一定の要件を満たす団体に対し、費用の一部を補助します。

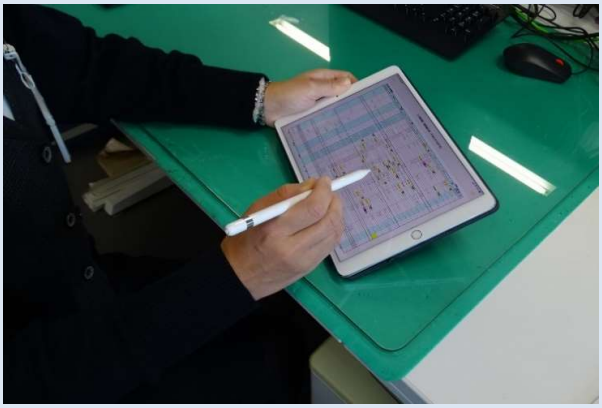
主な経費

ふるさと同窓会応援補助金　150万円

財源内訳

県支出金　75万円
ふるさとまちづくり基金（ふるさと応援寄附金）　75万円

業務改革プロジェクト



担　総務課0799-43-5001

8

R2年度事業費　　1,938万円
昨年度予算額　995万円

市役所内の業務を見直し、効率化を図りつつ問題点を改善することにより、職員の能力を発揮し、政策立案及び実行力を高め、「対話と行動」の行政への転換を目指します。

令和2年度は市役所内の定型業務を集約する事務処理センターを引き続き運営するほか、ペーパーレス会議システム、RPAツール、会議録文字起こしシステムを導入し、業務の効率化を図ります。

主な経費

ペーパーレス会議、RPAツール導入費等　1,055万円
事務処理センター職員報酬等　883万円

財源内訳

市一般財源　1,938万円

市制15周年記念事業

担　総務課0799-43-5001

9

R2年度事業費　　289万円
昨年度予算額　0万円（新規）

市制15周年を記念して式典を執り行います。

今回の式典では、普段から地道に心温まる活動や、他の模範となるような善行活動を行っている方々やグループをおのころ賞と称し表彰します。

また、記録映像により市制15周年のあゆみの振り返り等を予定しています。

主な経費

市制15周年記念式典事業費　289万円

財源内訳

市一般財源　289万円

技術支援業務の委託

担　財務課0799-43-5210

10

R2年度事業費　600万円
昨年度予算額　600万円

契約や入札制度及び市発注業務等について、市役所外部の専門的知識を有するコンサルタントからの助言や指導を受け、職員の技術力向上及び、適切な入札契約制度の構築を目指します。

主な経費

技術支援業務委託料　600万円

財源内訳

市一般財源　600万円

地域福祉拠点づくり・人材育成補助

担　福祉課0799-43-5216

11

R2年度事業費　2,650万円
昨年度予算額　2,650万円

地域福祉の中核的機関として、福祉ニーズに応える社会福祉協議会へ補助金を交付します。補助金は、学習機会の提供や交流・ネットワーク推進、情報収集・提供、相談事業として、また、法人運営や地域福祉企画運営、地域福祉サービスにかかる事業費に活用されます。

主な経費

福祉コミュニティ推進費補助金　2,150万円
生活困窮者支援基盤づくり事業委託料　400万円
ボランタリー活動支援費補助金　100万円

財源内訳

市一般財源　2,450万円
国庫支出金　200万円

広報・ホームページ・SNSによる情報発信

担　広報情報課0799-43-5206

12

R2年度事業費　1,344万円
昨年度予算額　1,375万円

市政情報の発信と地域の話題をお知らせするため、広報南あわじを発行するとともに、ホームページ・SNSを積極的に活用します。

広報は読み手により分かりやすくするため、全ページフルカラー印刷としています。また、島内高校と、阪神間や四国の近隣大学に広報紙を設置し、若者世代へ市の魅力や情報を発信します。

主な経費

広報南あわじ印刷製本・折込料　1,081万円
ホームページ保守管理委託料　121万円

財源内訳

市一般財源　1,210万円
広告掲載料　130万円
広報紙有料送付料等　4万円